

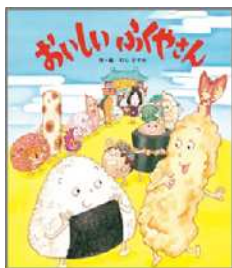
★えほん★

「おいしいふくやさん」 E3ノシ

のしきやか/作・絵 ひさかたチャイルド

『はごろもや』はおいしいふくやさん。

おいしくなりたいたべものたちがやってくる。きょうは“うまいもんコンテスト”。むきえびさんは、ちゅうもんしていたてんぷらごろもをきて、りっぱなてんぷらえびになった。さて、ゆうしょうできるかな？



「ねこってこなふう？」

ブレンダン・ウェンツェル/作 石津ちひろ/訳 講談社 E4ウユ

どうぶつからみたら、ねこはどんなふうに見える？いぬからみるとどんなふう？みずのなかのきんぎょからみるとどう見える？そらをとぶとりがねこをみおろすと？ねずみやへびは？そう、おんなじねこでもまったくちがってみえる！



「こどものこよみしんぶん」

内田かずひろ/絵 グループ・コロンプス/構成・文 文化学園文化出版局 E3ウチ

「山わらう」ってどういうこと？たん

ぼぼのかざぐるまのつくりかたは？日本の12か月のぎょうじやことば、生きものなどを、どんぐりクンがひとつきごとにしんぶんのかたちでしようかい。4コマまんがのコーナーもあるよ。



「人形の家にすんでいた」

ネズミ一家のおはなし

マイケル・ボンド/文 エミリー・サットン/絵 早川敦子/訳 徳間書店 E4サツ

ネズミのペックさん一家は、はくしゃくのおやしきにかざられている人形の家にすんでいた。ふるってきた人形の家がどこかにやられてしまうんじゃないかとしんぱいになった子ネズミたち。いいことを思いついたけど…。



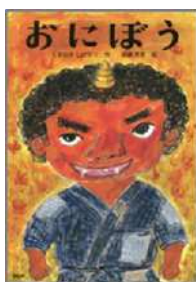
★よみもの★

「おにぼう」

くすのきしげのり/作 伊藤秀男/絵 PHP研究所 931クス

おにぼうは、山の中で母鬼とくらし

ていた。しかし母鬼が鉄砲の玉にあたって死んでしまう。一人ぼっちになったおにぼうは、山のふもとで人間の子どもたちが、あまりにも楽しそうにあそんでいるようすが気になって、とうとう顔を出してしまい…。



「ノラのボクが、家ネコになるまで」

ヤスミン・スロヴェック/作 横山和江/訳 文研出版 932スロ

ボクは自由で気ままなノラネコぐらしが大好きなんだ。でも反だちはヒトと家族になればいいのにならぬ。だけど…ボクとぴったり合う、カンペキなヒトなんてこの世にいない。そんなある日、近くの空き家に女の子が引っ越してきた。



「あくまで悪魔のアクマント」

山口理/作 熊谷杯人/絵 偕成社 931ヤマ

魔界の王国から悪の帝王アクマント

がやってきて、田中クンの家に住みついた。でも、ずっとこけてばかりでちっともこわくない。そこへ魔界からもう一人の使者がやってきて、人間たちをかなしみのどん底につきおとしはじめた。どうする！？田中クン。



「狐霊の檻」 931ヒロ

廣嶋玲子/作 マタジロウ/絵 小峰書店

千代が奉公するために、つられてこられたのは、阿豪屋敷。特別な役目のために千代が選ばれたのだ。それはお守り様と呼ばれる阿豪一族の守り神に仕え、お世話すること。だが一族とお守り様のあいだには秘密があった。



★しらべもののほん★

「びちくでごはん」

「かんたんおいしい防災レシピ」

岡本正子/監修 粕谷亮美/文 杉山薫里/絵 子どもの未来社 36

「そなえあればうれしいなし」。びちくでできる6日間のレシピを紹介。ものしりのおばあちゃんがいろいろなポイントやコツを教えてくれる。



「マイ・ジャパン」

「みてみよう日本のくらし」

フィリケえつこ/作 偕成社 38

新学期を英語でいうとThe First Day of School. 日本のくらしや行事を英語と日本語

と絵で説明している。不思議だな。なんだか自分が外国の人になって、いままで知らなかった国のことを初めて知るような気持ちになってくる。

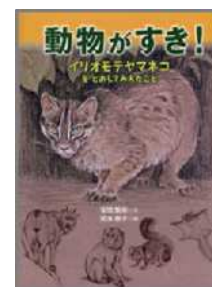


「動物がすき！ーイリオモテヤマネコをとおしてみえたことー」

安間繁樹/文 岡本泰子/絵 福音館書店 489

日本には思っているよりもたくさんの野生動物が、みぢかな所で生きている。小さいころから生きものがすきだったぼくは、大学生のとき「西表島で新種のヤマネコ発見」

のニュースを聞き、生きているヤマネコを研究したくて島にわたった。



「走れ!! 機関車」

ブライアン・フロッカ/作・絵 日暮雅通/訳 偕成社 68

さあ、旅のはじまりだ。機関車は、スピードを上げ、全速前進！西へ、西へ。大草原を走り、山のあいだをぬけ、大渓谷の木製の橋をわたり、めざすのは国のはじっこ。ネブラスカ州 オマハから、カリフォルニア州サクラメントまでの1週間の旅。——1869年夏、アメリカ大陸横断鉄道ができたころのお話。

